主機関の効力試験（海上運転）チェックシート（受検者用）

船舶検査済票番号：　　　　　　－　　　　　　　　　 主機関製造者名：

船名：　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　 主機関型式：

試験実施日：　　　　年　　 　月　　 　日 主機関(回転数／出力)：　　　　　　　　　min-1／　　　　　　　　　ｋW

検査方法：　　立会　　遠隔　　記録確認 　　※左記のいずれかに〇を付ける。

＜記載要領＞

各計器の数値等を記載については、船橋あるいは機側に備わっている計器で確認する。なお、計器が備わっていない場合は、記録欄に「－」を記載する。

◆出港前（係留中）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 試験項目 | 試験等実施時間 | 試験方法 | 判定基準 | 記録 | 判定〇/× | 備考 |
| 急発進防止装置の効力試験 | － | リモコンレバーが前進又は後進に入った状態で機関始動を試みる。 | クラッチを「入り」の状態にして主機関が起動しないことを確認する。 |  | 　　　 |  |
| 運転時間確認 | － | 運転前と運転後の運転時間積算計　(hourメーター)を確認する。 | 現在表示されている時間を確認する。 | 運転前　　　　　　　　 Hr運転後　　　　　　　　　Hr |  |  |
| 主機関の起動 | － | 主機関を起動する。 | 正常に起動すること。 | 機関回転数　　　　　　　　min-1 |  |  |
| 操縦（遠隔） | 　　　　時　　　分～　　　時　　　分 | クラッチ脱、アイドリング回転の状態において、各計器に示される数値が安定しているかどうかを確認する。 | 適正な回転数で運転できること、回転数が安定すること。 | 機関回転数　　　　　　　min-1 |  |  |
| 排気温度計が適正な範囲内あることを確認する。 | 排気温度計　　　　　　　　　　℃ |  |  |
| 冷却水温度計が適正な範囲内あることを確認する。 | 冷却水温度計　　　　　　　　　℃ |  |  |
| 潤滑油圧力計が適正な範囲内あることを確認する。 | 潤滑油圧力計　　　　　　　　MPa |  |  |
| 潤滑油温度が適正な範囲内あることを確認する。 | 潤滑油温度計　　　　　　　　　℃ |  |  |
| 機関室内室温計が適正な範囲内あることを確認する。 | 機関室温度計　　　　　　　　　℃ |  |  |

◆出港後（航行中）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 試験項目 | 試験等実施時間 | 試験方法 | 判定基準 | 記録 | 判定〇/× | 備考 |
| 前進試験 | 　　　　時　　　分～　　　時　　　分 | スロットルを通常（又は最大)出力まで上げる。 | 適正な回転数で運転できること、回転数が安定すること。 | 機関回転数　　　　　　　　min-1 |  |  |
| 排気温度計が適正な範囲内あることを確認する。 | 排気温度計　　　　　　　　　　℃ |  |  |
| 冷却水温度計が適正な範囲内あることを確認する。 | 冷却水温度計　　　　　　　　　℃ |  |  |
| 潤滑油圧力計が適正な範囲内あることを確認する。 | 潤滑油圧力計　　　　　　　　MPa |  |  |
| 潤滑油温度が適正な範囲内あることを確認する。 | 潤滑油温度計　　　　　　　　　℃ |  |  |
| 機関室内室温計が適正な範囲内あることを確認する。 | 機関室温度計　　　　　　　　　℃ |  |  |
| 旋回試験 | 　　　　時　　　分～　　　時　　　分 | 通常（又は最大)出力で前進中舵角 左右35度（又は最大舵角）にてそれぞれ180度旋回する。 | 舵が作動（右35度、左35度、又は左右共に最大舵角）すること。舵及び舵取り器が破損しないこと。異常音、異常振動、油漏れ、冷却水の漏れ、排気ガス漏れ等がないこと。 | 機関回転数　　　　　　　　min-1 |  |  |
| 後進試験 | 　　　　時　　　分～　　　時　　　分 | 通常（又は最大)出力で前進中、後進最大を発令し、船舶が停止することを確認する。 | 適正な回転数で運転できること、回転数が安定すること。 | 機関回転数　　　　　　　　min-1 |  |  |
| 機関本体確認 | 　　　　時　　　分～　　　時　　　分 | 運転中、機関本体に異常が発生していないか確認する。 | 海上運転実施中、オイル漏れ、冷却水の漏れ、排気ガス漏れがないこと、異常音や異常振動が発生していないことを確認する。 |  |  | 上記の前進～旋回～後進の試験中に確認する。 |
| 運転中、警報（潤滑油、冷却水温度等）表示盤に異常が表示されないか確認する。 | 警告灯が点灯、警報が発生していないことを確認する。 |  |  |
| 排気口 | 　　　　時　　　分～　　　時　　　分 | 運転中の排気ガスの状況を確認する。 | 著しい黒煙、白煙が生じていないことを確認する。 |  |  | 同上 |
| 冷却水排水口 | 　　　　時　　　分～　　　時　　　分 | 運転中の排水の状況を確認する。 | 運転中、排水口から放出される冷却水の吐出圧が十分であることを確認する。 |  |  | 同上 |

◆帰港後

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 試験項目 | 試験等実施時間 | 試験方法 | 判定基準 | 記録 | 判定〇/× | 備考 |
| 主機関の停止 | － | 主機関を停止する。 | 運転中、正常に停止できることを確認する。 |  |  |  |
| バッテリー | － | バッテリーのケーブルの接続状態及び充電状態の確認 | バッテリーにケーブルが確実に取付られていることを確認する。バッテリーの劣化が見られないことを確認する。 |  |  |  |